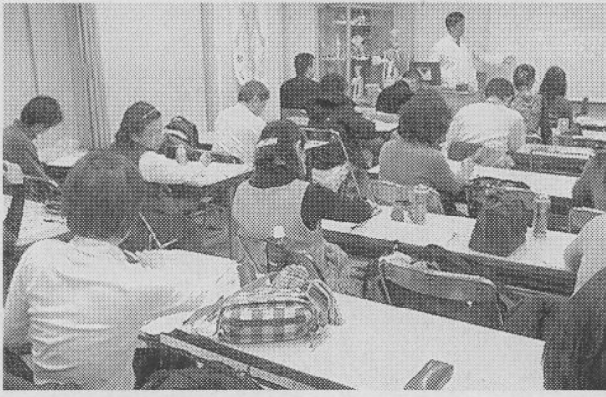


## 臨床中医師研究科を開設

### スペシャリスト育成



黒龍江中医薬大学日本スクールの授業風景

(東京都新宿区、陳堅鷹学長)は、今年四月に新たに臨床中医師研究科(修士課程)を開設する。修学期間三年のうち、中国・本校に留学する期間は一月半で、大部分の授業を日本で受けられる。

同研究科の履修内容は、中国医学や薬学、薬膳などの基礎から応用、研修・実技まで幅広く、修了者は臨床中医師修士号を授与される。授業時間は平均週八時間で、病院や企業に勤めながら柔軟にカリキュラムが組める。

定員は八人。日本の医学部などの卒業生や、家政学部などで管理栄養士を専行した、学位(学士)取得者を対象に、学力検査と面接で選考する。学費は合計三百九十四万円(留学費用は除く)。

年に中国・本校と提携。修士課程をはじめ、中医学の入門、短期、専科などのコースを設け、これまで千二百人が卒業した。

約四十人在籍する講師陣は中国の医・薬大を卒業し、医療現場の従事や日本の医・薬大の修士・博士課程を修了しており、同研究科では西洋と東洋医学の総合的な知識や知見を持つ新しい医師などの育成に努めている。

問い合わせは、同日本スクール(電話03・5272・5556)まで。